



木崎下町では、老若男女を問わず楽しめる軽スポーツが親しまれています。楽しみながら交流できるこれらの活動は、地域のつながりを育む取り組みであり、支え合いの土台にもなっています。今回は、そんな地域の様子をご紹介します。



木崎下町グラウンド・ゴルフのみなさん

木崎地区 木崎下町

4月21日(月)、木崎コミュニティ広場で行われている「木崎下町グラウンド・ゴルフ」の活動におうかがいしました。

参加されているのは、下町クラブ(老人クラブ)の皆さんで、約40名の会員のうち19名がグラウンド・ゴルフにも加入。この日は13名が元気にプレーを楽しまれています。

活動は毎週月・木の朝8時半から、木崎コミュニティ運動公園で実施。8ホールを4周まわる内容で、8月のみお休みし、冬の時期も継続して行われています。

下町クラブの皆さんは、グラウンド・ゴルフだけでなく、輪投げやスカットボールなど、さまざまな軽スポーツにも取り組まれており、仲間と一緒に体を動かすことが日々の元気の源となっているようです。

こうした地域での活動は、健康づくりだけでなく、人とのつながりを保つ大切な機会にもなっています。

木崎下町で活躍するみなさんをご紹介。
高齢になっても元気に、いきいきと暮らす
秘訣を伺います。

つながる
通信見てね



地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



多田佳右（よしすけ）さん(左)
町田美智子さん(右)

多田さんは「木崎下町グラウンド・ゴルフ」と「下町クラブ」の会長を務めています。

昨年度は「下町クラブ」の活動として、木崎小学校の依頼を受けて世代間交流を実施し、スカットボールを通じて地域のつながりを深めました。

町田さんは民生委員としても活動しており、クラブでは最年少のメンバーとして、明るく気配りを忘れずに会を盛り上げています。

お二人の尽力が、地域を支える大きな力となっています。

97歳の金井さんは、この会の最年長メンバー。毎回、仲間に送ってもらいながら元気にグラウンド・ゴルフに参加し、高スコアを出す実力の持ち主です。

体を動かすことと仲間との交流を大切にし、その元気な姿は他の参加者にとっても励みになっています。

「日々の暮らしを自分らしく過ごしたい」という思いが、元気の秘けつです。



金井さえこさん

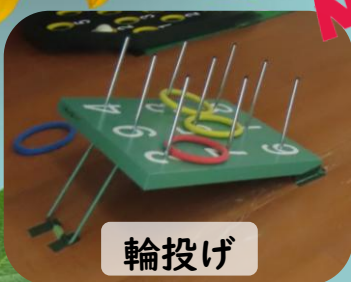
金井さんに次ぐ最年長、94歳の江原さん。

20年前の病気をきっかけに体を動かす大切さを実感し、毎日3,500歩を目標に歩いています。

10年前からはグラウンド・ゴルフや下町クラブにも参加し、仲間との交流を楽しみながら、前向きに活動を続けています。



江原シゲさん



輪投げ



スカットボール



まとめ

グラウンド・ゴルフや軽スポーツに取り組む皆さんの姿から、体を動かすことに加え、**おしゃべりを楽しんだり、仲間同士で送り迎えをする助け合い**も、日々の元気につながっていることが伝わってきました。

こうした地域の活動は、無理なく続けられ、人とのつながりや安心感を育む大切な場になっています。